“経営に知恵と革新”

令和元年９月１日発行（隔月発行）Vol.748 号

マネジメント コンサルタント

Management Consultant

2019 年９月・10 月号

第５３回経営士全国研究会議
開催日：９月１４日・１５日
開催地：京都タワーホテル
ホテルグランヴィア京都

認定経営革新等支援機関

一般社団法人日本経営士会

認定経営革新等支援機関

一般社団法人　日本経営士会

第53回経営士全国研究会議京都大会

伝統と共創

「第4次産業革命とイノベーション」
未来社会の構築に向けて

日本経営士会　近畿支部　第53回全国研 実行委員長 中筋 敏雄

■開催日時：2019年9月14日（土）～15日（日）

■開催場所：京都市（JR京都駅前　京都タワーホテル・ホテルグランヴィア京都）

■特別講演：9月14日（土）14：00～15：35

テーマ「SDGsと脱炭素化がもたらすビジネス革命と地域循環共生圏」

中井 徳太郎 様

環境省総合環境政策統括官

東京大学法学部卒業。大蔵省入省後、主計局主査などを経て富山県庁へ出向。日本海学の確立・普及に携わる。その後、財務省理財局計画官、財務省主計局主計官（農林水産担当）などを経て、東日本大震災の2011年7月の異動で環境省に。

総合環境政策総務課長、大臣官房会計課長、大臣官房秘書課長、大臣官房審議官、廃棄物・リサイクル対策部長を経て、2017年7月より現職。

■基調講演：9月14日（土）15：40～17：15

テーマ「日本航空が取り組む健康経営」―フィロソフィとウエルネス―

藤田 直志 様

日本航空株式会社（JAL）
代表取締役副社長・執行役員

国際基督教大学卒業、1981年日本航空株式会社入社

沖縄支店配属後、パリ・大阪・東京などで主に販売・営業部門を中心に従事。東京支店販売業務部長などを経て、2010年に執行役員に就任。その後旅客販売総括本部長、株式会社ジャルセールス代表取締役社長などを歴任し2016年から現職。

INDEX

第５３回経営士全国研究会議京都大会ご案内 ・・・・・・・・・2
理事会通信 ・・・・・・・・・4
事業部・委員会活動
　ＭＰＰ委員会 ・・・・・・・・・5
　ＣＳＲ環境事業部 ・・・・・・・・・8
　経営支援事業部 ・・・・・・・・・11
女性経営士の会 ＮＪＫ活動報告 ・・・・・・・・・12
研究会通信
　生産研究会 ・・・・・・・・・13
　ＴＡＭＡ研究会 ・・・・・・・・・14
寄付講座　産業能率大学寄付講座実施報告 ・・・・・・・・・16
「会員の輪」会員紹介 ・・・・・・・・・17
「寄稿」武術と健康に関する話　第 14 回 ・・・・・・・・・18
会員広場　プロレスと経営 第 15 回 ・・・・・・・・・20
支部活動報告
　北関東支部 ・・・・・・・・・21
　千葉支部 ・・・・・・・・・24
　埼玉支部 ・・・・・・・・・25
　南関東支部 ・・・・・・・・・26
　四国支部 ・・・・・・・・・27
　中部支部 ・・・・・・・・・28
行事・講座・セミナーご案内 ・・・・・・・・・30
ＭＰＰ開催予定 / 支部活動予定 ・・・・・・・・・31
広告 / インフォメーション ・・・・・・・・・32

マネジメントコンサルタント（Management Consultant）
発行所：一般社団法人日本経営士会

〒102-0084　東京都千代田区二番町12-12 B.D.A. 二番町ビル5F
Tel：03-3239-0691　Fax：03-3239-1831
http://www.keieishikai.com

表紙：京都タワー

Copyright©2019 AMCJ. All Right Reserved. Design:Kenichi Aoki & ZENT Inc.

第53回経営士全

京都タワーホテル

包括テーマ

伝統と共創

「第4次産業革命とイノベーション」
未来社会の構築に向けて

開催日：2019年9月14日（土）・15日（日）

場所：京都タワーホテル 9F 第一部 式典「八閣の間」
第二部 講演「八閣の間」
京都市下京区烏丸通七条下ル東塩小路町721-1（京都駅前）TEL 075-361-7261

：ホテルグランヴィア京都 5F 第三部 懇親会「古今の間」
京都市下京区烏丸通塩小路下ル東塩京都駅ビル内　TEL 075-344-8888

9月14日（土）

・受付：11：00～12：30　京都タワーホテル 9F

■第一部 開会式「八閣の間」

12:40~13:20

司会・進行　実行副委員長　藤井美保代・橋本　俊幸

1. **開会のあいさつ**　実行副委員長(事務局長補佐)　橋本　俊幸
2. **国旗・団体旗　拝礼**
3. **物故者　黙祷**
4. **ご祝電披露**
5. **実行委員長挨拶**　中筋　敏雄
6. **主催者挨拶**　（一社）日本経営士会会長　青木　幸江
7. **ご来賓祝辞**

13:20～13:45

8.「ビジネス・イノベーション・アワード京都」表彰
アワード各賞表彰　会長賞　優秀賞
ビジネス・イノベーション・アワード選考委員会
選考委員長審査総評

9. **第一部閉会の挨拶**
実行副委員長・総務委員長　河上　晃

13:45～14:00　休憩

■第二部「八閣の間」

14:00～15:35

(1) **特別講演**　テーマ「SDGsと脱炭素化がもたらす
ビジネス革命と地域循環共生圏」
環境省総合環境政策統括官
中井 徳太郎 様

15:40～17:15

(2) **基調講演**　テーマ「**日本航空が取り組む健康経営**」
ーフィロソフィとウエルネスー
日本航空株式会社（JAL）
代表取締役副社長・執行役員
藤田 直志 様

基調講演・特別講演 謝辞
実行副委員長・広報委員長　瀬尾　寿一

京都タワーホテル（9F）からホテルグランヴィア京都（5F）へ移動

■第三部「古今の間」　18:45～21:30

表彰式　全国研究会議多数回出席者表彰
MPP高単位取得者表彰・優秀会員表彰

記念セレモニー・懇親パーティー
司会・進行　実行副委員長　河上　晃
実行委員　奥田　和子

1. **オープニング**
2. **開会挨拶**　実行委員　佐渡島　周平
3. **ご祝電披露**
4. **ご来賓様　挨拶**
5. **乾杯**
6. **食事・歓談**
7. **アトラクション**
8. **NJK女性経営士の会**
9. **閉宴のことば**　実行委員長　中筋　敏雄

国研究会議 京都大会

ホテルグランヴィア京都

【監修】

・佐藤　光子　本部副会長　・加藤　健二　本部副会長
・近藤　安弘　本部専務理事　・淺見　正義　大会顧問

9月15日（日）

■研究論文発表会「八閣の間」　9:00～10:30
（質疑応答を含む）

休憩

■全体会議「八閣の間」　10:40～11:50

司会・進行　実行副委員長　藤井美保代・橋本　俊幸

1．**第53回経営士研究プログラム優秀論文表彰**
2．**次回開催地の発表**
　（一社）日本経営士会　専務理事　近藤　安弘
3．**全国研究会会議　主管交代式**
4．**次期開催地代表挨拶**
　2020年第54回全国研究会議実行委員長
　新潟大会　桒山　一宏
5．**閉会の言葉**　実行委員会顧問　酒井　三雄
6．掲示物予定
　経営士PRコーナー　他

◇◆◆ 研究会議論文参考例◆◆◇

・SDGsとビジネスを考える
・観光と生活の共生
・伝統と革新の共生
・都市と地方の共生
・外国人労働者問題にどう対応するか
・デジタルエコノミーの急速な進展にどう対応するか
（キャッシュレス化・IoT・AI・Bigデータ等）
・事業継承の対応
・中小企業として消費税にどう対応するか

理事会通信

＜令和元年度第二回定例理事会＞

記

日　時：令和元年6月21日（金）　12：30～13：30

会　場：本部会議室

第一号議案：総会スケジュールについて

事務局より資料に沿って説明があり、全会一致を以って承認された。

第二号議案：資格審査委員会規程について

津田担当理事より資料より説明があり、内容には問題は無いが、細部の修正が求められ、修正を条件に全会一致を以って承認された。

尚、審議の中でMPP等本会独自の教材が海外で特許申請されないよう、対策を設ける必要がある旨の意見があり、次回以降の理事会の議題として取り上げることとなった。

第三号議案：倫理規程改訂案について

近藤専務理事より資料に沿って説明があり、審議の結果一部修正を条件に全会一致を以って承認された。

第四号議案：選挙管理委員会委員選定について

近藤専務理事より資料に沿って説明があり、前回の理事会にて承認された3名に加え、南関東支部、四国支部の会員を加えることが、全会一致を以って承認された。

第五号議案：クレジットカード決済導入について

佐藤副会長より資料に沿って説明があり、審議の結果、全会一致を以って承認された。尚、業者については見積もり等を取り、改めて決定する事とした。

第六号議案：会員情報への発信体制強化について

佐藤副会長より資料に沿って説明があり、情報の共有化の為、会員のメールアドレスを取得する旨を会報誌に掲載して会員に告知することが全会一致で承認された。

以　上

事業部・委員会活動

MPPの現状に関するミーティング議事録(台湾特別支部)

MPP委員会

開催日時：令和元年7月21日　12時00分～
場　　所：滿穂餐廳(台北市松江路128號)
参 加 者：青木幸江(会長)、佐藤光子(副会長)、平山道雄(MPP顧問／東京支部)、
岩井美喜夫(MPP委員／四国支部)、茂木達男(東北支部)、他1名(茂木達男氏奥様)
以上日本側
黄世欽(支部長)、張銘江、李孟熹、蔡有義、邱炳輝、陳益世、李啟華、劉邦寧
以上台湾特別支部側
※日台併せて14名

本　題

MPP委員会より佐藤副会長より挨拶があり、続いてMPP委員岩井より内容について具体的な説明があった。

- 台湾支部内におけるMPPはどのぐらいの頻度で行なっているか
  台北･･･年平均8回(隔月プラス2回)
  台中･･･約隔月開催
  ※日本国内の各支部より頻度が高い
- MPPリーダー研修について
  今年から来年にかけて更新が必要な会員は新入会員と併せて3～4名の見通し
  来年度に更新研修及びリーダー研修を行なう予定
  リーダー研修及び更新研修は李孟熹会員が行なう予定で、MPP委員からは岩井が参加予定である
- 外部共催の有無
  台湾支部としても計画はある
  どのような手法がよいかとの質問あり
  - ➢ 上野先生方式で企業の教育訓練で活用する方式
  - ➢ 四国支部方式で他団体(各種士業や銀行等)を巻き込んだ合同開催方式
    以上2点を紹介して折衷する方式でもよし、台湾で一番合う方式にて開催を検討
- 今後の計画
  上記MPPリーダー、更新研修、外部MPPの開催を計画している
- リーダーマニュアルの見直し、ケースの見直しについて
  リーダーマニュアル、ケースを中国語(普通語)に変換できないか
  - ➢ 台湾側蔡有義と日本側岩井で協議して行なっていく
  - ➢ できた物からデータ化してメールで台湾側に送る
- 平山顧問より
  MPPのこれまでの歴史と変遷をお話頂く
  ケースについても新しいものも大切だが古い物もそのケースにおける考え方の勉強になるので大切にしていかなければいけない旨の言葉を頂く

台湾支部訪問記

MPP委員会

岩井 美喜夫

7月19日よりMPP委員会を中心に青木会長をはじめ佐藤副会長、東京支部平山氏、東北支部茂木氏ご夫妻、会員外で青木ひとみ様、そして四国支部岩井の7名で台湾支部を訪問した。日程は出発前日の7月18日に本部でMPP委員会があり、みんな揃って出発するのに都合が良いと思いこの日程で計画をした。

羽田空港発着のフリープランツアーで時間もお昼頃のフライトで夕方到着という理想的なタイムスケジュールで、1日目は移動と食事で終えた。

（羽田空港より出発）

（台湾神社の跡地である圓山大飯店）

2日目は早朝より台湾支部に尽力された故劉成基元支部長の墓参と観光で、配車の関係で墓参は会長、副会長、平山氏の3名で残りは観光組で分かれての出発であった。墓参組はとにかく故劉成基元支部長の墓地が立派で驚いたとのことであった。また、平山氏がお墓に向かって語りかけた言葉でぐっと来たとのことである。観光組は張銘江会員が案内役を担当していただき、台北圓山大飯店（日本時代の台湾神社跡地）と忠烈祠（靖国神社の様な戦没者慰霊施設）での衛兵交替式を見学した。圓山大飯店から忠烈祠までは歩いて移動したが、当日外気温は38度を記録しており、まだ本格的な夏を迎えていない我々にとっては少し厳しい移動になった。しかし張銘江会員は昭和14年生まれで小学校に上がる前までは日本式の教育を受けており、現在も相当鍛えているようで元気そのものであった。お昼に墓参組みと合流し、午後からは龍山寺にお参りをしたがその直後、夕方に亜熱帯特有のスコールのような雨が降り、一気に気温が下がり身体も心も安堵した。夜は台北の名所「九份」の観光であったが、暑さの中最後までスケジュールをこなしたのは東北支部と四国支部の会員だけとなり、田舎者の強さを改めて思い知った･･･？！

（映画千と千尋の神隠しの舞台の九份）

（故劉支部長奥様と慰霊施設にて）

3日目は正午より、台湾支部は新しい会員を含めた8名の会員が台北に集まり、台湾におけるMPPの現況と今後の課題、並びにリーダー研修等についてのミーティングの席を設けて頂き、懇親会を兼ねて開催した。先ず副会長の挨拶として、「私達はMPPはじめすべての知恵、技術を次ぐに繋げるようにしてほしい。また経営士会全体に言えることだが台湾支部においても先輩の宝をしっかりと受け取るようお願いします」とのお言葉を頂いた。様々な話しが出る中で、台湾支部においてはMPP開催のペースは各支部の中でも上位を誇る年間8回(台北地区)ということで大変感心した。また外部普及活動をどのようにしたらよいかとの質問や今後の計画、出発前日に行なわれたMPP委員会でのリーダーマニュアル見直しの件や新しいケースの件等も合わせて話し合った。古い会員や日本との繋がりのある会員は日本語の資料を理解できるようだが、中国語(繁体字)での資料やケースも必要に迫られていることが課題となった。最後にMPPの重鎮で創生期より携わってこられた東京支部平山氏のMPPに対する基本を再度見つめなおさなければならない点や取り組むべき姿勢を述べていただき、大変有意義な時間を過ごした。

台湾支部の会員には、滞在中のおもてなし(古の日本文化を引き継いだような)に感謝すると共に今後日台が一体となって更なる発展をしていけますよう祈念しております。

(台湾支部会員との記念撮影)

(ミーティング)

(重鎮平山氏の話を聞き入る日台会員)

(ミーティング開場前にて日台会員勢揃い)

事業部・委員会活動

「地方創成SDGs官民連携プラットホーム」会員となりました

CSR環境事業部

マネジメントコンサルタント誌の前号(7.8号)にてお知らせしましたが、7月初めにSDGs推進本部より日本経営士会宛てに日本経営士会(AMCJ)が3号会員として登録されたと連絡が入りました。

ここで改めて「地方創成SDGs官民連携プラットホーム」(以下プラットフォーム)の目的、AMCJとしてどのように取り組めばよいのか考えてみたいと思います。

●プラットフォームの設立趣旨

2015年に国連で採択された「持続可能な開発のための目標(SDGs)」において、先進国、開発途上国ともに「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し世界全体の経済、社会及び環境の3側面に於ける持続可能な開発を統合的な取り組みとして推進することが示されました。

SDGsが示す多様な目標の追及は地方自治体に於ける諸課題の解決に貢献し地方の持続可能な開発即ち「国民一人一人が夢や希望を持ち、潤いのある豊かな生活を安心して営める地域社会を形成する」ことを目標とする、地方創成に資すると考えます。

SDGsの促進のため、地方自治体、及び地域経済に新たな付加価値を生み出す企業、専門性を持ったNGO、NPO、大学・研究機関、広範なステークホルダーとのパートナーシップの深化、とりわけ官民連携が不可欠です。また従来から取り組んでいる「環境未来都市」構想のさらなる推進を通じて、より一層の地方創成につなげることを目的に「地方創成SDGs官民連携プラットフォーム」を発足することとしました。

●プラットフォームの目的

本プラットフォームは多様なステークフォルダーの積極的な参加及び官民連携を推進することによりSDGsの達成に向けた取り組み及びそれに資する「環境未来都市」構想のさらなる推進を通じて、より一層の地方創成の推進につなげることを目的にします。

この目的のもと、将来像を実現するための課題とそれを解決するノウハウや知見の共有が進むようにプラットフォームが情報共有の基盤となり、会員同士の情報共有や連携構築を促進します。

●プラットフォームの活動内容

①マッチング支援

会員情報の共有(会員データベース)

会員の要望を通じた交流支援

メルマガの発進

②普及展開活動

各種展示会等への出展

内閣府との共催による地方創成SDGs国際フォーラムの開催

会員開催イベント等への後援名義の使用承認

③分科会開催

会員の提案にもとづく分科会設置、会員（提案者）主催による分科会開催

分科会成果のフィードバック

以上はAMCJが会員になって送られてきた「地方創成SDGs官民連携プラットフォーム会員活動の手引き」【第2版（令和元年4月時点）】から引用しました。

●このプラットフォームの特徴

①国は推進本部（運営事務局は㈱三菱総合研究所）が主催する行事以外は税金を投入しません。

②プラットフォームの活動として

・マッチング支援

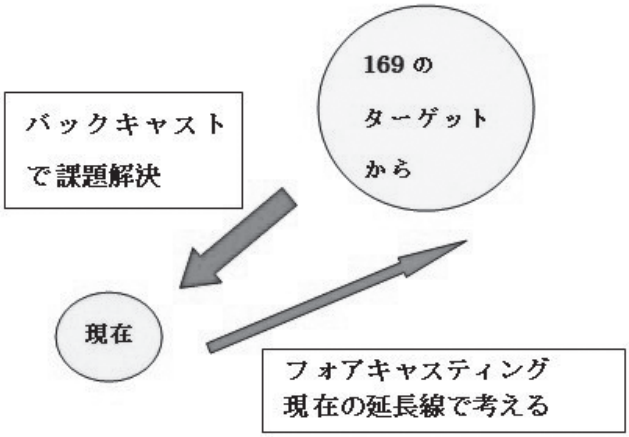
・普及展開活動は具体的に地方で行政・団体・企業が展示会、イベント等が開催した時に会員はその情報を得て参加可能です。

この情報は推進本部からメルマガにて会員向けに送られてきますが守秘義務が課されていますから、AMCJ会員限定でお知らせすることになります。

③分科会の立ち上げが可能

地方創成の具体的手段としてアイディアがあればAMCJの分科会として申請可能です。

具体的アイディアとか新規企画を考える場合、SDGsの169ターゲットがこれからの人類の課題ですから、アウトサイドイン（バックキャスト）の考えが必要と言われています。



この場合注意することはセミナー等を企画する場合、都度開催で赤字を作らないことが条件になります。会場費とか講師代、印刷代など諸費用は参加者に負担して頂くこととして広報することになります。多くの参加者を予定しても集まらなかった場合のことも考慮にいれておく必要があります。所定の用紙で企画書を作り当会の会長決済が必要となります。

注：プラットフォームの概要、会員1.2.3号会員の直近の数、分科会内容一覧などは下記のホームページから公開されています。http://future-city.go.jp/platform/

●AMCJとしてのSDGs推進委員会（仮称）が必要かと

上記①②③等を考慮するとAMCJとしてSDGsに取り組むことは理事会で承認されていますが、SDGs推進委員会（仮称）を立ち上げる必要があろうかと考えます。

（CSR環境事業部：福井 浩）

事業部・委員会活動

階層別研修と環境出前講座

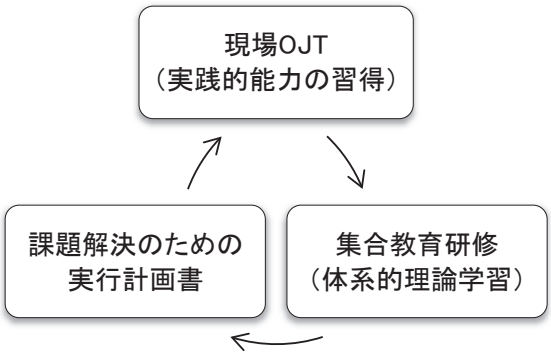
CSR環境事業部

人材育成は、生産性を向上する効果的な手法のひとつである。いままで二人でやっていた仕事が、一人でできるようになったら生産性は2倍になる。しかも早期戦力化できたら企業業績への貢献度は計り知れない。企業が時間・コストをかけて人を育てる理由がここにある。

人材育成は、「採用」「教育」「評価」が三位一体となって行われるが、その中核をなすのは社員教育である。社員教育には、「職場内訓練(OJT)」「集合教育(OFFJT)」「自己啓発」の三つ方法がある。ここでいう研修とは集合教育を指し、職務上必要とされる能力(知識・技術)を高めるために、ある一定の期間特別に学習や実習することをいう。

研修には、「職種別研修」と「階層別研修」の二つがある。職種別研修は、同じ職種・仕事内容(例:営業職、事務職)の社員を対象に研修を縦割りで行う。その目的は、職種ごとに必要とされる個々人の知識・技能を向上し、業務全体のレベルアップを図ることにある。

階層別研修は、全社員を対象に職位ごとに異なる内容の研修を横断的に行う。その目的は、一貫したシステムのもと人材の早期育成を図ることにある。システムには三つの柱がある。階層ごとに設定された「OJTを中心とした自己学習型プログラム」、「体系的に理論を学ぶ集合教育研修」、「課題達成のための実行計画書」の三つである。



「自己学習型プログラム」は、個人用教材を用いて、職位に応じた遂行能力が日常の仕事の中で自然に身につくようにしたものである。それを手助けするのがトレーナーである。「集合教育研修」は、自己学習型プログラムで身につけた実践的能力を体系的理論で補って確かな知識・技能にしていく。講義は社内外講師が担当する。集合研修が終了したら課題達成のための実行計画を作成し挑戦する。課題が達成したら昇給昇格し、さらに上位職の研修プログラムにチャレンジできる。この人材育成システムは、「PDCAサイクル」を回し、個々人のモチベーションを高め、チャレンジ精神を醸成することでもある。

研修プログラムには、「オリジナル型」と「パッケージ型」がある。オリジナル型は、企業の個別の事情と現場の実情を踏まえて作成したプログラムである。パッケージ型は、講師が開発した標準型研修プログラム(例:新入社員研修など)で、企業から特段の要望がなければ、そのまま研修を行う。

階層別研修を依頼されたら、まずオリジナル研修プログラムを作成する。プログラムは、従業員アンケート調査をもとに抽出された課題と企業側からの要望をすり合わせて研修項目と内容を決める。手間暇かかるが、このプロセスを踏むことが研修を成功に導く。

階層別研修は4つのステップで進める。「小講義」「ワークショップ」「現場実習」「ふりかえり」である。小講義では理論的・体系的に理解することを援助する。ワークショップでは参加者自らが参加・体験して共同で新しい創造と学習を生み出す。現場実習は、体験学習による問題発見・原因分析・対策立案、基準合わせを行う。最後にふりかえりでは知識の確認をテスト形式で行う。

環境出前講座は、企業などから講習や講演などの依頼を受けて行うものであるが、それで終わりではない。環境経営士は、経営トップの環境基本方針が現場の第一線で働く従業員まで浸透し、具体的な行動につながる指導助言が求められている。そのためには、「CSR環境と経営」(テキスト)を階層別に編成し、業種を想定して研修プログラムを作ってみる。「習うより慣れろ」の精神である。

事業部・委員会活動

セミナーのご案内

「経営改善プロフェッショナル養成講座」開催のご案内

経営支援事業部

財務上の問題を抱えていて、金融支援が必要な中小企業の多くは、自ら経営改善を図ることが難しい状況にあります。こうした状況を変えるために、国は日本経営士会などの認定経営革新等支援機関に対して、中小企業・小規模事業者 の経営改善計画の策定支援等に取り組むことを求めています。そこで認定経営革新等支援機関の一員である日本経営士会は、「経営改善計画策定支援」業務に必要とされる知識のエッセンスを、効率よく修得していただくことを目的として、本講座を開催いたします。本講座を修了された方には、「経営支援アドバイザー」資格を授与しますので、経営改善支援の専門家としてご活躍いただけます。

■経営改善プロフェッショナル養成講座・開催概要

◆主な学習内容：

・「経営改善計画」等の事例　・認定経営革新支援機関業務の位置づけ

・中小企業金融をめぐる現状認識　・経営課題の把握　・経営改善施策の策定

・計数計画の策定　・金融支援策の策定　・バンクミーティング　・モニタリング　他

◆受講メリット：

・経営改善計画の策定支援に必要な基礎知識とノウハウを、短期間で習得できる。

・修了者には「経営支援アドバイザー」の資格が授与されるため、認定経営革新等支援機関の一員として、「経営改善計画」の承認支援等の業務に携わることが可能となる。

◆対　　象：

基礎的な会計・戦略立案に関する知識をお持ちの方。なお、会計等に関する基礎知識に不安をお持ちの方は、E-ラーニング講座「Air Course」で配信中の会計や戦略立案関連講座を予めご視聴の上、ご参加ください。（詳細は日本経営士会HPでご確認ください。）

◆講　　師：川又 義寛（経営支援アドバイザー）、藤原 義宏（経営支援アドバイザー）

＊講師のプロフィール詳細は、日本経営士会HPをご確認ください。

◆開催日時（2日間）：初日：2019年10月13日（日）　10：00 ～ 17：30

2日目：2019年10月14日（月）　9：30 ～ 17：30

◆会　　場：（一社）日本経営士会　本部会議室

◆定　　員：16名

◆受 講 料：30,000円（税込）

◆申込締切日：2019年10月4日（金）　＜先着順＞

◆お申込み：（一社）日本経営士会 本部事務局　TEL. 03-3239-0691

女性経営士の会 NJK活動報告

◎外部セミナー

『出会った0.1秒で売上が決まる！～印象力で相手の心を一瞬でつかむ方法～』

7月9日中部大学東京サテライトにおいて、印象エキスパート株式会社 代表取締役 柳沼 佐千子先生をお迎えし、第一印象で売上アップのテクニックを実演していただきました。21名の参加をいただき、参加者全員が日常意識しない筋肉を動かし、思いっきりの笑顔の表情を作る練習など、実践的な講演で楽しく学びました。続いて、中部大学教授・工学博士でもある児玉充晴先生より「相手の心を読む方法～観察力と仮説検証での聞く力～」として、しぐさ・口癖・態度等からの相手の心理を読む方法や質問の技術を、気づかなかったセオリーやすぐに活用できる沢山の具体例とともに解説。実践的で学びの多い講演となりました。講演終了後は、SHIKOKU バル 88屋に移動し、懇親会を行いました。今後もNJKでは、参加された皆様にとって有意義な講演を企画してまいります。

これからのNJK

●2019 Woman MPP in 越後湯沢　8月31日(土)

新潟県会とのコラボ企画。新潟県越後湯沢東映ホテルにて女性リーダーでMPP開催。

●第53回経営士全国研究会議 懇親会にて女性会ネットワーク支援　9月14(土)

式典：京都タワーホテル　懇親会：ホテルグランヴィア京都

●東京ウィメンズプラザフォーラム　10月27日(日)　参加募集中

『働き方を考える～「好き」を仕事に活躍する女性たち』

柔軟な働き方をしながら「好き」を仕事にしている女性にスポットをあて経緯や展望を交えた講演と、男女ともに今後の働き方への展望を模索しヒントとなるシンポジウムです。

会場：東京ウィメンズプラザ　**時間：14：30～16：30**

●Web会議の効果的進めかた　11月24日(日)　参加募集中

13：30 ～経営士会本部会議室　（7月28日の講演が延期になりました）

講師：土橋るみこ　株式会社戦略経営研究所　NJK副会長

NJKでは全国ネットワーク強化を目的としてNJKと各拠点をつなぎWEB会議を本部へのインフラ導入も視野に検討しています。中継でつなぐ実演も行います。

○NJKは男女の差なく、会員が活躍できる機会を増やすお手伝いをしています。

○NJKとコミュニケーションの輪を広げましょう。コラボ希望の支部随時募集中。

【お問合せ】TEL：090-1812-9812　島影(bzu03624@nifty.com)

研究会通信

これからのモノづくりへの私見

生産研究会

（会員番号209）　平山 道雄

近年の社会情勢を見ていると、従来から美化されてきた使い捨て時代を終わらせる時が来ているのではないかと感じている。これからは原形を変えての再利用や修理をしての再利用を考えなければならないであろう。廃材から再処理可能品の分別～原材料化や修理を容易にする製品設計が要求される。そのためには技術者の考える力・見る力や感覚がまた先輩技術者たちからの技術の伝承や匠の技の伝承が必要になるであろう。

この視点で考察すると製品の開発技術や生産技術（加工・組立）が未来に向かった最先端のみに目が向いて、現在の足元を見る製品開発や生産技術の範疇にある加工技術の研究や生産管理技法の基礎的部分が疎かになり、弱体化している様な傾向が見られ危惧される。

廃材の新原料化や新製品の生産技法（加工・組立技法）等は、第4次産業革命が進展する現況にあっては従来と異なった状況が見られる。特にIOTが気になる所であろう。IOTを実現する為には次の様な式が成り立たないであろうか。

生産技術＋生産管理技法＋IT技術＝IOTの実現

生産技術面を強化する手段（OJT、OFFJTなど）を採る必要があるように思われる。生産技術に関しては機械加工。板金加工などの経験・知識を多少なりとも持っている必要がある。これらを基に治工具設計・設備設計、また管理面で使用されるであろうディスプレイ装置の配置など人間の携わる余地のある部分に対しては人間工学の知識が不可欠となる。

生産管理技法については、生産技術面を理解していることが必須であるが、機械・設備を効率良く稼働させることで生産性向上を目指すことから、工程・作業分析や動作分析をはじめWF法・MTM法など各種技法そのものと同時にそれぞれの持つ思想を把握しておく必要がある。品質管理・設設備理・運搬管理等々関連ある事項に対応出来る準備が必要であろう。

IT技術においては、生産技術や各種管理からの要求に対してシステム設計（基本設計～詳細設計～プログラム仕様書）の出来る知識・能力が要求される。

モノの加工や移動により発生する物的量やそれらの変化量を測定する検出器また検知器の選定や検出された量を信号に変換し、計測系に入力する装置なども生産技術・生産管理・IT技術の三者がすべての面において相互に協力・協調して最適解を求める体制整備が重要である。

この様に考えてみると、クライアントに対応するコンサルティション・支援の在り方が、今後変化して行く様に感じられるが如何なものであろうか。

生産研究会は経営士会の特徴である6部会の中の生産部会が主催していますので「モノづくり産業」に主体を置いてご意見・ご提案を本部事務局までお寄せください。

研究会通信

定例研修会の報告

TAMAマネジメント研究会

「TAMAマネジメント研究会」は1993年（平成5年）6月に、日本経営士会東京支部経営士 山本功先生の提唱に賛同した多摩地区の経営士が立川に参集し設立されました。（現在の代表幹事：松尾 實氏）

本会は、会員の経営コンサルタント技能の向上を図るとともにマネジメントの運営ノウハウを錬磨し、地域産業の発展に寄与することを目的に、月例研修会、企業訪問、展示会視察、情報交換などを行っています。

現在の参加メンバーは、経営士のほか中小企業診断士、弁護士、技術士、税理士、社会保険労務士、企業経営者等の方々がおられます。

今回は6月22日（土）に立川市三多摩労働会館で開催された6月度定例研修会についてご報告いたします。

この研修会では、西多摩地域の人と仕事・暮らしをつなぐハートフルな会社「西多摩新聞社」の代表取締役社長 柴崎斉氏に地域密着と個性豊かな西多摩地域をつなぐローカル新聞の紹介・魅力とまちづくりや地域振興等について、ご講演をいただきました。ご講演の要旨は下記の通りです。

（研修会の様子）

（柴崎 斉社長）

①青年会議所での経験から人脈つくりや経営の勉強が大いに役立っている。

②西多摩新聞社の紹介と現況について：

- 西多摩地区の新聞社は2社へ激減（かっては7社）
- 4市3町村をベースに生活情報を取材。社員15人、発行部数12,000 ～ 15,000（有料10,000部）、発行は毎週金曜日の週1回の発行。
- 西多摩新聞社の事業多角化も進めています。（広告、自分史出版等も行う。）
- フアックスによる情報収集と現地取材を行っているが取材依頼が多く、新聞に掲載出来ないほど情報が集まる。

・地域に密着した新聞社として、商工会、倫理法人会、商店街とも連携し地域の情報発信基地となっている。
・デジタル社会を視野に紙の媒体の他にネットやスマホを活用して、紙面のマークから画面が見られる新しい技術「(AR(拡張現実))を導入しており、発信の方法も工夫し進化させている。

③地域活性化に向けた取り組みを積極的に支援
・福生市銀座商栄会会長として、パンフレットの作成に新聞社の強みである編集・印刷機能を活かして商店街の脆弱である情報発信面で協力し、商店街の活性化につながっている。
・地域活動
　・福生の飲食店振興のため、多数の飲食店が参加する期間限定の「FUSSA HAPPYBAR TOWN」が開催されており、西多摩新聞社も情報発信で協力している。
　・町ゼミ「福生ハッピーゼミタウン」が期間限定で開催されている。「町ゼミ」とはお店の人が講師となって専門店ならではの知識や情報、コツを無料で教える小人数のミニ講座である。(60店舗が参加)主婦が中心で人気がある。西多摩新聞社も宣伝・情報発信に一役買っている。(町ゼミは現在全国400ケ所で行われている：愛知県岡崎市が発祥地)

④柴崎斉社長が日々実行されている「3行日誌」の紹介と勧め
・3行日誌とは、毎日の終わりに今日行ったことを3行で纏める日誌のこと。
　1行40字前後、次の3行に纏める。
　　×　反省、後悔、残念なことを吐き出す。
　　○　うまく行ったこと、コツ、感謝を述べる。
　　P　明日やるべきこと、大切なことを絞る。
・簡単であり、継続しやすい。纏めることで自律神経(アクセルとブレーキ)を整えられる。纏めることで認知症予防になる。日誌自体が自分史となる。

ご講演終了後、「ビジネスサロン」として、中小企業診断士 山本幸一氏に「消費税対応とキャッシュレス化の現状・今後について」お話いただいた。

ＴＡＭＡマネジメント研究会の月例研修会紹介：誰でも参加出来ます。
・毎月第4土曜日14時～ 17時開催
・会場：立川市三多摩労働会館
・申込は横井三郎宛(☎080-413-9111)：メール　saburo-yokoi@muc.bigiobe.ne.jp
・TAMA研ホームページ参照：http://tamaken.o.oo7.jp/

(報告者：TAMAマネジメント研究会　事務局長　山本 忠)

寄付講座

産業能率大学・寄付講座・実施報告

8月10日（土）～ 11日（日）産業能率大学　自由が丘キャンパス7号館にて寄付講座を実施しました。本年度は産業能率大学と日本経営士会の提携により、一定の履修科目の単位を取得し大学（通信学部）を卒業された方を経営士補に、短期大学（通信学部）で環境関係の履修科目を取得し、卒業された方を環境経営士に認定する制度ができ、関心度が高まってきています。

受講参加申込は29名で1名欠席のため実質上28名の参加となりました。また学部の方から聴講生として4名が参加されました。

受講されました皆様は熱心に授業に参加され2日間の授業を集中して取り組まれました。昨年のアンケートからテキストの見やすさについて意見を多数いただいておりましたので産業能率大学のご協力を得てカラー冊子に変更して好評を得ました。

懇親会では異業種の方々やコースが異なる方々も横の交流が図れて好評でした。

日本経営士会への関心も高まり、現在、入会希望者が14名おられ、卒業後、入会される見込みです。寄付講座の企画・運営にあたりご協力いただきました産業能率大学の職員の皆様・講師の皆様・事務方の皆様・サイドから支援いただきました皆様方に感謝いたします。ありがとうございました。

（専務理事　近藤 安弘）

（授業の様子）

会員の輪

経営士　よろず相談所（かかりつけ医）

九州支部　会員番号4054　神﨑 進

2015年（H28年）3月　深夜入浴中　脳梗塞発症。救急搬送され脳外科医による左脳頸椎静脈血管内ステント留置術施行。救命されるも左脚・腕・言語障害等の重度回復治療のためリハビリテーション病院へ転院。（不良債権問題発生）

OT（理学療法士）PT（作業療法士）ST（言語聴覚士）のトライアングルチーム（スペシャリスト）にて、月単位のリハビリ計画書に基づく治療を実践。

リハビリ専門家集団（国家資格者）の施行効果は日々機能回復していることを実感。根治したいと願う精神力とリハビリはシナジー効果が大切であることを悟る。ムンテラ［医学用語］（患者を説得することでモチベーションアップ）も匠の技。我々と同じ（士業）である。多少の後遺症は残っていたが入院3ヶ月後に退院。以後はメディカルフィットネスに3日／週（PM12：30〜PM4：30）通いハードな自主トレ開始。手指の動き・歩行訓練・足のつま先上げ（はい筋）・喋り方など（各種ドリル）それぞれの機能が徐々に回復、明るい兆しが見えてきた。早く以前のように元気になって復帰したいと思い、超ハードな運動をやり過ぎた結果。（債務超過による休業）

2016年（H29年）3月　突然、喘息発作様の呼吸困難発症。妻（内科医）のクリニックで胸部レントゲンを撮ったところ肺が真っ白（原因は心不全に伴う肺水腫）と診断。早速、救急病院へ連絡を取り搬送される。酸素濃度80、即ICU（集中治療室）へ応急措置するも、担当医より「こんばんが山です」と宣告。ありとあらゆる治療（狭心症治療薬ドーパミン・IVH）等点滴実施。（倒産寸前）幸いにも一命を取り留めたが、各種検査の結果、大動脈弁閉鎖不全症と診断。

H29年4月心臓血管外科チーム編成（スペシャリスト）による8時間かけての人工弁置換手術。併せて僧帽弁・三尖弁も修復。麻酔から醒め…生きてることを実感!!一言で言い尽くせないほどの喜びを感じた次第である。（企業再建）

以上の様に、生死（倒産寸前）をさまよい、そして生還（再構築）万歳!!

この体験を踏まえ、医療界の診断&治療（企業再建）に置き換えてみました。この切り口は、人の健康と企業の健康への思考は重複する部分が多いと考えられる為、敢えてこの様な表現をさせて頂きました。「これは私見です」

初期診断「経営者（患者）からのザックバランな相談（問診）…「コミュニケーション度合と相互信頼」と早期発見がその人の運命つながる為、一刻も早い手当を心掛けている。応急処置で解決できるかどうか判断。稀に重症（財務・人材等の事案発生）企業あり。

経営士会はスペシャリスト集団（弁護士・税理士・社労士他）であるが故、迅速な紹介ができる強みがあることで救済された事案数例あり。そこで、経営士の人脈ネットワークは最も大切な財産である。

最後に、自称ジェネラリスト経営士である小生は、今後とも微力ながらよろず相談所（かかりつけ医）として小規模・零細企業、或は行政、自治会、各種団体、組合等と絡み地域貢献したいと考えてます。

■次回号のご執筆は、中国支部の金廣利三会員にお願いします。

寄稿

武術と健康に関する話　（第14回）

平　直行

■ 不自由な動きが体の性能を高める。

スポーツをする時や体を動かす時に自由に伸び伸びと体を動かす方がよいとおそらく誰でも思うのではないでしょうか？これは確かに当たっています。そして少しの間違いがあります。その間違いに健康になる為にやっている運動に関する隠れた問題が潜んでいます。

この連載で何度も書いてきたように、人の体は無意識に環境に応じた最適な動きを行ないます。これは生命維持の機能ですので無意識に行なわれ意識でコントロールすることが出来ない体の仕組みになります。例えば呼吸は普段無意識に行なっています。常に意識すれば他のことが出来なくなるからです。また呼吸は自分で常にコントロールすることは難しい体の機能です。緊張して呼吸が荒くなった時に自分で呼吸をコントロールすることが簡単に出来たら誰も緊張に悩まない。実際には緊張して深呼吸をしてもなかなか落ち着くことは難しく却って緊張が大きくなったような経験は誰でも多少あると思います。

人は心によって体の性能が変り、心によって呼吸も変わります。心だけでなく体を動かす環境によっても変わります。歩くという単純な運動でも舗装道路と砂利道、川原では体の動きが無意識に変ります。それが坂道になればもっと変わります。この時に変る動きは体の奥の動きで無意識に変化しています。地球上のどこでも無意識に人は体の奥からの動きを無意識に変化させることによって自分の意識の動きを完成させます。歩くという意識は自分で決めて詳細な動きは体が無意識に決めます。これを僕の提唱するサムライメソッドやわらぎでは、意識的運動司令と無意識的運動司令と呼び無意識的運動司令の覚醒で体を元の状態、元気な体に戻すメソッドを考案し普及活動を行なっています。

人は楽な場所では無意識に体の奥の動きを制限します。必要のない余計な動きをすると体を早く消耗して生命が早く燃え尽きるのでそれを防ぐ為の体の本来持つ生命維持の機能です。草原なら楽に動きゴツゴツした岩場や山などでは、なるべく少ないエネルギーで体を動かす為に体の奥から動くように自動的に体の動きを変えます。体は骨格で支えてその周りの筋肉は骨格の動きに合わせて動きますので骨格の動きが動く場所によって変わります。地球は引力の惑星ですので、骨格にはテコの原理で常に違った圧力がかかり、その力によって無意識に体の奥の動きが変化します。それに応じて筋肉も表面から奥までの繋がりを感じて無意識に体全体のどこまでを使うのかを決めて常に体を動かしている､だから環境に応じて体の性能は無意識に変化している訳です。本来の人の体が持つ能力は豊かで変化に富む地表で、ただ動く事で無意識が体の奥から豊かで変化に富む動きを適切に引き出すことで維持されます。

体の性能は引力と接触する場所や物によって自動的に変化します。この理論、無意識の運動司令の覚醒によって肩や腰の動きを自動的に変化させてみましょう。

腕を上げます。

次に体を捻じって同じように上げると腕はよく上るようになっています。

更に重心を片足に移動するとテコの原理で腕は更に高く上るようになっています。

この時に以前紹介した人工芝を使用すると更に効果が高まります。

腰を捻転します。

次に足を前後に移動しながら更に腰も無理のない範囲で前後に動かしながら捻転します。

段階を踏んで無理なく腰の稼働範囲が大きくなります。

地球は三次元の空間に引力が働く環境ですので、3次元に近い状態に動きを拡大すれば体は無意識に機能を高めます。

平直行先生の公式ペライチをチェック！
動画、出版物、セミナー情報が満載！『平直行　ペライチ』で検索ください。
https://peraichi.com/landing_pages/view/tairanao

会員広場

【プロレスと経営】（第15回）

堺　剛

ファンとの距離感

格闘技を見に行くととても気になることがある。試合を終えた選手が気軽に客席に来てしまうことだ。チケットを買ってくれた“応援団”のところに挨拶に行き、そのまま空いている席に座り残りの試合を一緒に見るという場面を多々見る。ファンを大切にしていると言えなくもないが、身内ノリ感がどうしても拭えないのも事実である。仮にその選手が良い試合をしたので今後応援したいと思ったとしても、“応援団”にわざわざ入れてもらう人は少ないであろう。友達にチケットを買ってもらっているだけでは“応援団”の人数は増えていかない。内輪ノリを脱出できない選手は、残念ながらプロとは呼べないのかもしれない。逆に言えば、内輪ノリから抜け出すことができた選手は本当のプロであると言える。

昭和に活躍したレスラーは、会場に入ったら自分の出番まで控室から出てこなかった。観客に姿を現さないことによって観客の期待感を膨らませていたのだ。そして“仕事”を終えたら速やかに控室に戻っていったものだ。客席に現れるレスラーは、ブッチャーやシンのような凶悪レスラーだけだったかもしれない(場外乱闘のため)。

昭和に活躍したレスラーは、会場への入りや出の際にも気軽に写真撮影やサインに応じなかった。特に悪役レスラーはファンの前で優しい顔をしなかった。筆者が中学生の頃、シンの写真を撮ろうとした際、彼の宿泊先にて追いかけられた記憶がある。本当にあの時は生きた心地がしなかった。殺されると本気で思ったものだ。シンの素顔は常識あるビジネスマンだと聞くが今でもそれは信じたくない。彼のプロ根性には脱帽するしかない。

一方、平成に活躍したレスラーは、試合を終えた直後に汗も拭わず売店に立つ。キャラクターグッズを販売しなければならないからだ。凶悪レスラーであっても、ファンと写真を撮りサインに応じファンに“悪態”をつく。ファンとの距離は昭和と平成でガラっと変わってしまった。しかしこれが平成のプロ根性と言えなくもない。距離が近かろうが遠かろうがレスラーとファンの間には見えない壁があるものだ。

私たち経営コンサルタントもある意味プロレスラーと同じである。昭和に活躍したレスラーのように、ここぞという時に存在をアピールしていくのか。それとも平成に活躍したレスラーのようにサービスを目いっぱい提供し存在をアピールしていくのか。

自分自身のプロ根性をどう見せるか･クライアントとどうやったら心地よい距離感を保てるか、を日々考えていくことでプロ意識が養われると思うのは私だけであろうか。（続く）

堺　剛：
経営士(会員番号5384)、環境経営士(認定番号244)。
株式会社バーニングスピリッツ代表取締役。バンダイビジュアル株式会社を始めとして、中小企業・外資系企業数社で経理のキャリアを20年以上積み2017年4月会社設立。
【事業内容】 1. パートタイム経理部長(月次決算早期化、キャッシュフロー計算書直接法作成　等)
2. 菓子専門商社業、菓子を用いた販売促進物・宣伝物の企画・製作
ホームページ：https://www.burningspirits2017.com/
電話番号：090-2733-0185　E-mail：tsakai@burningspirits2017.com

支部活動報告

北関東支部 新潟県会第23回 公開MPP 開催報告

北関東支部

北関東支部新潟県会は令和元年最初の公開MPPを開催しましたので報告いたします。

日　時　令和元年 7月13日（土）13時30分～16時30分（3時間）
会　場　クロスパルにいがた（新潟市中央区礎町）
出席者　新潟県会：磯部正美県会長、渡辺良男会員、木村泰博会員、西山茂会員、
粉川雅人会員、鈴木裕之会員
桑山一宏支部長
東京支部：日野隆生会員、埼玉支部：萩原玄会員
一般参加：永田功二様、駒村哲行様、大海輝文様、小野忍様

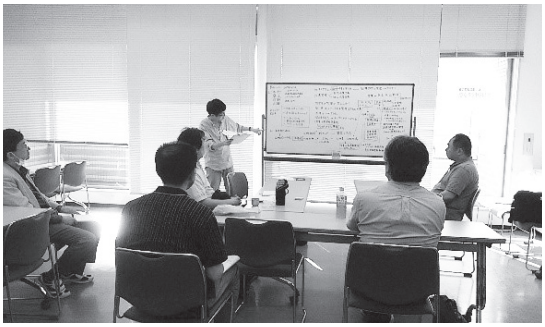
23回公開MPPには、新潟県会会員6名、東京支部・埼玉支部から各1名、一般参加者4名含めて合計13名が参加しました。

冒頭、磯部県会長よりMPP初参加者もおられることからオリエンテーションを行い、新潟県会ケース研究会で作成したトライアルケーステーマ「行き詰った間接部門の改善プロジェト」

サブテーマ　～リーダーA氏とB係長の悩み～

（Aチームの発表（小野様））

製造業の間接部門に焦点を当てたケースを3チームに分かれて討議を行いました。


（Bチームの発表（大海様））

（Cチームの発表（粉川会員））

MPP初参加の方もおられましたが、活発な討議が行われ、チーム討議終了後、各チームの発表を行いました。

それぞれの発表内容では課題に対するアプローチや解決方法にも違いがみられ、今後に生かすためには非常に有意義なMPPとなりました。

MPP終了後、新潟駅近くに会場を移し、暑気払いを兼ねて参加者それぞれの活動の現況報告など情報交換も行い交流、懇親を深めることができました。

参加の皆様に感謝いたします。

（報告者　磯部 正美）

支部活動報告

2019年度第2回　茨城県会公開MPP　開催結果

北関東支部

当会会員の皆様、当会の宝であるMPPを大切にすることを期待します。

今回は会員外の異色の方がご参加、MPP終了後「農業に関する教養講座」開催という予期せぬ研修会にもなり、どなたでもご参加OK、茨城県会の公開MPPのよさが出たと考えます。紺野様に感謝、今後もよりよきMPPを目指します。次回予定＝9／28です。

この結果報告については、批判的にお読みいただきたいが、批判に終始するのではなく、肯定できる点については、参考にしていただきたい。それがMPPの真髄と考えます。

当会では「MPP」を商標登録して、他団体等から類似品出現を防止しており、私達が商標を大切にして、商標の積極活用を図るのが責務と考えます。皆様如何お考えですか？

当県会では公開MPPを年間4回開催、MPPへの魅力付加のため、県外や賛助会員、次に会員外を招き、複数チームでの開催を心掛け、2019年度第2回公開MPPについては、東北、埼玉、東京支部を含み、計11名にご参加いただきありがとうございます。今回は、前記3支部会員のご協力、ご参加で2チーム編成、少数会員の当県会、参加者に感謝です。前回類似の報告内容ですが、MPPに更なる魅力を付加したいと考えます。

MPPは、経営士能力開発講座→経営能力開発講座（士を削除）→MPP（商標を取得）と変遷した経緯があり、根底にあるのは思考力の養成、その内容は大～零細の企業研究であり、広く組織研究と言えます。皆様如何お考えですか？　皆様、再確認お願いします。

以上の前置き、以下の詳細をお読みいただきたく、重複を承知して議事録的記載です。

1. 開催日：2019年7月27日（土）
   13：30 ～ 17：00（事前の情報交換的説明等、終了後検討会　各15分間）
   17：00 ～ 17：15（農業関連の基礎的な教養講座　15分間）
2. 参加者：2チーム、計11名（県内6名・県外5名）
3. 開催場所：ひたちなか市　ひたちなか商工会議所
4. 使用ケースコード：51－011－187
5. ケーステーマ（題名）：老舗印刷会社　社長へのアドバイス
6. 終了後検討会：質疑応答を含み計15分間
7. ケース選定の理由：MPPを継続開催すると、採用ケース探しに苦労する。
   未選定ケース払底の状態であり、今回も支部間交流（活用）を目指した。
   お世話係としては、過去と同一ケース採用は避けたいのが本心である。
8. チーム編成と会員外（今回1名）参加者について：農業関係、紺野昭浩様、異色の方
   1）計11名で2チーム編成、終了後検討会開催が大切、活発な意見交換できたと判断。
      6名／チーム　では多過ぎ、4 ～ 5名／チーム　は活発な討議になる。
      活発な討議結果を示す克明に記載のボード（写真）をご参照いただきたい。
      当県会ではリーダー体験者を増加、MPPの会員外への普及に寄与したい。
   2）終了後、懇親の場を設け、情報交換や対話不足を補い、相互理解を深めている。

今回は身近なテーマ、現実的な対話や感想に及び、情報交換は有意義である。
農業という異色の分野の教養講座　場外編　を開催できたのも収穫である。

9. 参加者の分析や感想等：

1) 時系列の経営数値を示してないが、事業を冷静に観察すると少しずつ悪化の状態。
事業継続の可否を検討するのも適切な様子。現状は黒字の様子だが、継続的に黒字になるよう「平易に表現してふんどしを締め直し」事業の抜本的な見直しが必要と考えるが、如何だろうか。冷静な分析と判断が必要だろう。

2) ケース中段「業界環境は・・・印刷需要は少なくなっており・・・A印刷会社への発注は激減していた。・・・便利な印刷会社が出現・・・需要がさらに小さくなっていた」とあり、事業の実態や将来性を示すもので、事業継続が困難になりつつあることの表れかとも推測できる。第三者からの相談でもあり根底から検討要だろう。
地方の印刷業の苦しい実態かなとも推測、抜本的見直しのときかとも考える。
きついが、「転廃業を含めて検討したら・・・」の助言を求めているのかも知れない。

3) 仕事量が激減の様子、それを不安視の様子が経営者等に窺えず、不安を感じても無意味と達観の様子、真剣に対応すべく詳細に聞き出し、対応が必要だろう。

4) 事業継続を勧め（進め）て傷を深くするよりも、傷の浅い内に転廃業するのも方法かなと考えるが如何だろうか。ここは冷静な検討と判断が必要だろう。

5) 資産等を考え、設備更新を含み新規投資を検討することも考えたい。
MPPとは想像力発揮の場であり、興味の尽きない場である。

6) 本ケース2度目の体験だが、過去とは無関係に検討することができ、MPPのよさを改めて知ることができたとの指摘である。

7) まずは自己変革が必要なことを理解してもらうことから始める必要がありそうだ。
商売をしている方々の「やる気」を起こしてもらうのが先決かなと考える。

8) 今回も記載だが、2チーム構成、4支部に及び、各支部の特徴が出てよかった。
MPPにも県民性的な要素があり、各県会に呼び掛けて、多くの参加者に集まってもらう工夫が必要と思う。参加者の多様性確保ということである。
リーダーの資質（基本的技量）の向上にも、参加者全員で取り組みたい。

MPPは企業経営に役立つとの感触を得ており、敢えて従来同様を重複記載します。
参加会員の皆様のご理解、ご協力により、密度の濃いMPPになり感謝します。
よき伝統が今後も引き続くことを信じています。

（茨城県会　MPP　写真提供　橋本 琢磨会員、お世話係　塚本 裕宥）

（発表会の様子）

（MPPご参加の皆様）

千葉支部 活動報告

千葉支部

1.「中小企業3Cの会」

◆6月度開催報告(6月29日土曜日　船橋中央公民館　参加者16名)

テーマ1「軽減税率について」　山下 恭司　会員

消費税の引き上げに合わせて、実施される消費税の軽減税率について、対象品目、区分記載請求書等保存方式、平成35年10月1日からの適格請求書等保存方式などの概要説明がありました。適用税率(軽減税率と標準税率)の判定イメージも含め、軽減税率についての理解を深めました。

(3Cの会の様子)

テーマ2「千葉県の水源調査報告」　林 久雄　会員

林会員から千葉県の水源について、現地調査も含め、発表がありました。千葉県には226の河川があり、河川を調査していくことで、千葉県の産業育成へのヒントが見え、企業への指導活動につながるとのことでした。引き続きの活動に注目です。

◆7月度開催報告(7月27日土曜日　船橋中央公民館　参加者18名)

テーマ　改正入管法の施行に伴う「特定技能」の概要と外国人材の活用について

講　師　公益社団法人 経営・労働協会　代表理事　高山 泰　様

わが国における外国人労働者受入れの現状から、入管法の改正により創設した「特定技能」を中心に、技能実習と特定技能(1号)の制度比較、就労開始までの流れ、支援計画の概要等のお話をしていただきました。人手不足の介護、外食業、建設等の分野に受入れが見込まれます。経営支援の立場の我々にとっては、大変参考になる内容でした。

2.「足活健康経営における共同研究」

テーマ：日常の健康管理とフットケアの有用性について

「第1回 6月29日 知識編：立ち仕事・事務職の業種／実践編：自分の足トラブル」

工場生産ラインの立ち仕事では、腰痛、足底筋膜炎等のトラブルが、事務職では、むくみ、冷え等のトラブルが考えられるとのことです。職場環境等を把握することで、働く人の課題も見えてきます。実践編では、参加者各自の足を診断カルテにより、その対処方法ついて学び、各自実践してみることとしました。

(共同研究の様子)

「第2回 7月27日 知識編：営業職の業種／実践編：足ケア術の注意点と基本ケア」

営業職では、足のむくみ、慢性疲労、水虫、靴が合わない等の足腰のトラブルが起こりえる。自分の足をケアする注意点と足裏中心のケアの説明があり、前回に引き続き各自実践することとしました。

9月28日(土)、10月26日(土)、11月30日(土)、12月21日(土)船橋中央公民館で共同研究は14時30分から、3Cの会は15時からです。

★問い合わせ先等については、山田一　enshin@js4.so-net.ne.jp　まで

(金子 昌夫 記)

支部活動報告

埼玉支部主催新入会員発表会の報告と10月19日MPP開催のお知らせ

埼玉支部

埼玉支部主催新入会員発表会の報告

埼玉支部では、ほぼ毎年新入会員の発表会を実施しており、今回は下記のとおり開催しました。

日時：2019年7月15日（月・祝）　13：00～

会場：武蔵浦和コミュニティセンター第1集会室

今回の新入会員は次の3名で実施しました（発表順）。参加人数は新入会員を含む12名。

・渡部正司会員：会社勤務。経営士養成講座第49期生。

・古賀俊介会員：会社勤務。

・松本和恵会員：社労士としても活躍中。

新入会員の定義は、初めて新入会員発表会で発表する方であり、入会して1年以上経過された方も含まれます。

今回は、各新入会員とも、持ち時間1時間とし、各自のプロフィール、抱負、要望、得意分野について自由に発表頂き、質疑応答頂きました。なお司会は埼玉支部の臼倉恵美子幹事にお願いしました。

各自、工夫して発表され、質疑応答も活発に行われました。

＜交流会の実施＞

残り30分で、交流会と称して、参加先輩経営士と話す機会を設けました。

ほぼ全員が発言され、再質問、自己紹介のほか、先輩経営士としてアドバイスされる方もおられました。これにより参加者全員が発言し、満足いただける結果が得られたと思います。

なお中日本ブロック会議で新入会員発表会を実施している話をしたところ、ご興味を頂き、受講対象者を中日本ブロック各支部に拡大頂けることになり、東京支部より1名参加頂きました。

また外部にも声掛けし、1名参加頂きました。

（新入会員発表会 風景）

10月19日MPP開催のお知らせ

中日本ブロック主催、埼玉支部主管のMPPを下記のように開催しますので、埼玉支部はもちろん中日本ブロック各支部の皆様のご参加をお願いします。

1. 開催日：2019年10月19日（土）
2. 時　間：13時30分～ 16時30分　　受付：13時00分から
3. 場　所：浦和コミュニティセンター第14集会室（浦和駅東口浦和パルコ10階）

（注）最近、会場は武蔵浦和駅の会場が多かったですが、今回は浦和駅の会場です。

（文責：中杉 保雄、小西 洋三）

支部活動報告

神奈川経営支援センター　SDGs研究会活動への想い

神奈川SDGs研究会

神奈川SDGs研究会 事務局　経営士　小池 基美男

1. サステナブルな社会の実現にむけて　～令和に始まるSDGsビッグバン

自然環境・地球環境の保全を前提とした経済社会の発展を「誰一人取り残さず」「両立」させる新たな社会の仕組みづくりがSDGsです。平成生まれのSDGsは国内においても、最近急速に認知が広まりつつあります。自治体や企業においてSDGsの取組宣言が急速に増加し、SDGsをキーワードとする大小の活動の紹介は、連日のようにメディアで取り上げられています。

世界中の子どもたちは既に、ESD（Education for Sustainable Development）「持続可能な社会を支える担い手づくりのための教育」を受け始めており、大人たちよりもずっと「自分の事」として新たな社会づくりを意識し、行動を始めています。（グレタ・トゥンベリさんをご存知ですか）

「令和」は「beautiful harmony（美しい調和）」という解釈であると世界に発信されており、本格的にサステナブルな社会づくりをめざす時代の始まりを偶然にも象徴しているように感じます。

神奈川のSDGs研究会では、SDGsの進展動向情報を掴み、理解を深めながら社会変革を推進させる一躍として、経営士の担うべき役割活動について検討を始めました。

2. 研究会活動の進展　～共創のコミュニティを広げる

- 6月7日（金）第5回研究会
  関東経済局主催イベント（中小企業と自治体SDGs　3月東京開催）参加報告　他
- 7月6日（土）第6回研究会
  SDGs経営チェックリスト事例研究（中小企業の自社分析評価促進ツールとして）
- 7月8日（月）電気学会との合同見学会
  相模原ロボットセンター訪問。SDGs推進の交流企画を探る
- 8月3日（土）第7回研究会
  自治体のSDGs動向報告（令和元年度の未来都市選定自治体事例研究）　他

神奈川のSDGs研究会は、参加者のSDGsの情報共有（共に学ぶ）に始まり、共感・共創を生みだすコミュニティとして発展することを目指しております。

既にメルマガを支部内に配信し、研究会の出席会員以外にも情報発信を定期化し、今後はWeb会議やSNSツール等を活用して、多くの会員が参加できる機会を拡大していきます。具体的な企画調査活動等のアイデアが生み出されたら、分科会として実行プロジェクトを構想し実行を支援します。（いくつかの分科会が来月には立ち上がる見込みです）

3. SDGsを推進するには、～問われる経営士としての視座と覚悟

2015年に、国連で採択されたSDGs文書の表題には、「Transforming our world」、世界を変革する（ためのSDGs）とあります。日本にはSDGsの思想に近い「三方良し」の経営思想もありますが、地球環境や国際社会といった範囲まで、さらには未来という時間軸まで入れた「三方良し」経営は、時にはこれまでの経営成功の知見まで見直す覚悟も必要です。

動き始めたとはいえ、多くの企業ではSDGsマッピングに着手したばかりです。2030年をめざすSDGsは、その後も続く未来社会創りの「ツール」です。私たち自身の活動がSDGsウォッシュとか、チェリーピッキングなどと言われないようにするため、SDGsが実現する社会の姿に対する洞察や、SDGsでは触れられていないその他多くの社会課題の実現も必要であることまで視座を高めるとともに、一個人一市民としての存在においても、責任と変革の覚悟が持続的に必要に思えます。

4. ローカルで広げる価値　～経営士会の共創力の源泉

SDGsは世界共通の目標であると同時に、地域、個々の企業においてはローカライズされた独自の目標を掲げ取り組むことが求められています。

全国に組織を持つ経営士会は、各地域の実情に合わせローカル独自の支援活動を展開することが可能な団体です。一千人の経営士が全国にコミュニティを持ち、つながることであっという間に十万、百万のつながりが創出できます。そのくらいの規模の集団で無ければ解けない大きな（あるいは多くの）社会的課題の解決を目指すことを経営士会全体で創出し共認できるよう、神奈川では今後各ローカルへの相互交流、相互支援を推進してまいります。

5. 京都でお会いしましょう

「サステナブルな社会の実現にむけて」覚悟を持った経営士会の対話が、京都から沸き起こることを期待し参加いたします。

支部活動報告

女性経営士の会四国支部活動報告

四国支部

6月24日女性経営士の会四国支部では、香川銀行において山本かおる会員による「企業経営セミナー」～採用・定着・育成のためのコーチング～と題してセミナーを行ないました。

現在の日本企業が抱えるもっとも大きな問題のひとつとして、採用・定着・育成が挙げられます。いわゆる人手不足といわれている現在、採用においてはいかに自社の特色を生かし、必要な年齢層に向けてアピールできる点を上手く求人で表現できるかということになろうかと思います。

次に挙がる定着に関しては、現代社会の抱える若年者の定着率の悪さ、特に地方の中小企業は深刻な問題になっています。これはマクロ的な視点に立つと戦後教育の悪弊、いわゆる占領軍による日本の弱体化政策（ウォーギルトインフォメーションプログラム）が如実に出てきた点にあるといえます。戦前教育を受けた世代に育てられた層は権利に対する義務のバランスが保たれていましたが、現在では権利が先行をして義務が後回しになっているため、異常なまでに定着率が悪くなっているのが現状です。

定着率の悪さは採用した社員の所為ばかりではありません。企業としても企業人としての育成が大切になってきます。

そのあたりの問題を山本会員のコーチングの技法を取り入れて、わかりやすく解説していただき、受講側も差し迫って身近な問題なので真剣に聞き入っていました。

四国支部としては、香川銀行ビジネスセミナー講師派遣を外部連携事業の一環として行なう予定で、今回の山本会員のセミナーに関しては香川銀行ビジネスセミナーにおいて受講者数も近年稀に見る盛況さで、次回の講師依頼も来た次第です。今後はこのビジネスセミナーを通して、広くクライアント企業にも日本経営士会を広め、様々な分野で活動の枠を広げていこうと考えております。

（山本会員による講義に聞き入る参加者）

支部活動報告

中部支部　研究会報告

中部支部

●121研究会

テーマ：東京五輪に向けてスポーツ産業はどのように動いているか

担　当：梅本泰則（中部支部長）

日　時：令和元年6月9日（日）　9時30分～11時30分

スポーツ産業界屈指のコンサルタントが、業界の市場動向を徹底分析！！

国が進めている「日本再興戦略2018」では「新成長戦略」の重点分野としてスポーツ産業の育成が挙げられている。このスポーツ産業が国の主要政策に組み入れられたのは初めてのことである。

その政策を実現するために、2015年10月に設立されたスポーツ庁が中心となってスポーツビジネスの産業化を図っている。そして、スポーツ庁は2015年の日本のスポーツ市場規模5.5兆円であるものを10年後には3倍の15兆円を目指すと発表している。そのため、スポーツ産業を以下の6つの分野に分けてそれぞれの成長を図ろうとしている。

分野	主な施策	2015年	2025年
1）スタジアム・アリーナ	街づくり	2.1兆円	3.8兆円
2）アマチュアスポーツ	大学スポーツ		0.3兆円
3）プロスポーツ	観戦者増加	0.3兆円	1.1兆円
4）放送・旅行	スポーツツーリズム	1.4兆円	4.9兆円
5）IoT活用	サービス化		1.1兆円
6）スポーツ用品	スポーツ実施率向上	1.7兆円	3.9兆円
合計		5.5兆円	15.2兆円

●スタジアム・アリーナ分野

全国で20以上建設予定があるスタジアム・アリーナはスマート化が図られ、今までにないスポーツの楽しみ方ができる。

現在、新しいスタジアム・アリーナでは、①LINEで発券　②電子スタンプで入場　③デジタルでイベント体験　④スマホアプリで特別サービスといったことが行われている。

今後の方向としては、次のような施策が考えられる。

・複合スタジアム化による収入（SC、病院、ホテル、ジムなど）

・他スポーツ大会の開催（アイスホッケー、Xゲームなど）

・コンサートや芸能イベントの開催

・各地方公共団体の体育施設の改修（アリーナ・体育館、スタジアム、球技場、野球場）

●アマチュアスポーツ分野

この分野では、特に大学スポーツをビジネス化していくことが模索されている。米国のNCAAを参考に「UNIVAS」という大学スポーツ組織を立ち上げた。これによって、日本のスポーツ団

体のあり方も変化していくきっかけとなる。

●プロスポーツ分野

日本の各プロスポーツリーグも、欧米のマーケティング手法を参考にリーグ収入をあげ、観客を巻き込んだエンターテイメント性を高め、利益の上がる運営を目指している。

プロ野球もJリーグも米メジャーリーグや英プレミアリーグとは5倍以上の売り上げの差が在るので、今後は改革を進めながら市場規模を大きくしていく。

●放送・旅行分野

ダゾーンなどのネット配信が盛んになることで、新しいスポーツ放映市場が拡大していく。また、プロリーグや大学スポーツの発展は新しい放映料収入につながっていく。

スポーツツーリズムも盛んに行われており、旅行会社や地方自治体と連携したスポーツイベントが行われると予想される。

●IoT活用分野

この分野はNEC、ドコモ、富士通などIT大手が製品開発を進めており、スポーツ選手やチームに大きな影響を与える。

例えば、選手の動きが3Dデジタルで確認できたり、敵・味方選手の動きをデータ分析しながら戦略に応用できたりといったことである。製品だけでなく、ソフトの開発で、大きなビジネスになっていくことが予想される。

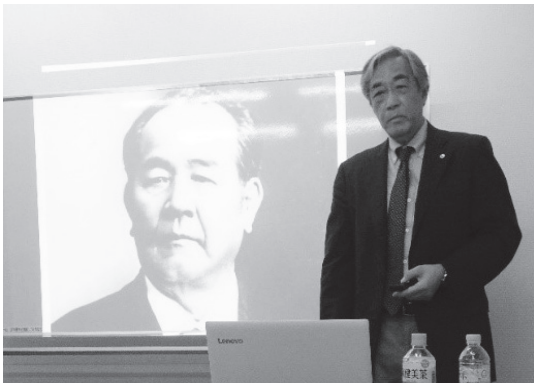
●スポーツ用品分野

6つの分野の中で、この分野がもっとも対策が遅れている。

2017年のスポーツ用品目メーカー出荷額は1.47兆円で、10年間で18%アップしているものの、このペースでは国の目標の3.9兆円にははるかに及ばないだろう。

方法としては、プロスポーツ、大学スポーツ、IoT、さらにはスタジアムの成長をうまく活用することである。

以上、スポーツ業界専門家の視点から、国の成長戦略の柱となっているスポーツ産業の動きを鳥瞰図的な発想でお話をいただきました。我々経営士としても関心を持っておくべき事柄ではないでしょうか。



（梅本講師の講義）

（参加者の皆さん）

（報告者　今枝 健治）

2019年開催行事・講 座・セミナー ご案内

行事･研修･セミナー	日　時	開催場所	詳　細	申込方法など
環境経営士養成講座 ベーシックコース	9月7日(土) 10:00〜17:30	日本経営士会 本部会議室	募集人員：15名 受 講 料：13,000円(税込)	当会HP「環境保全活動のご案内」をご覧下さい。
環境経営士養成講座 アドバンストコース	9月21日(土) 9月22日(日) 2日間 10:00〜17:30	日本経営士会 本部会議室	募集人員：15名 受 講 料：25,000円(税込)	当会HP「環境保全活動のご案内」をご覧下さい。
第53回 経営士全国研究会議	9月14日(土) 9月15日(日) 2日間	京都タワーホテル ホテルグランヴィア京都	会報誌3・4号／5・6号／7・8月号、当会HPをご覧下さい。	事務局に問い合わせ下さい。
第3回 コンサルタント起業塾	9月29日(日) 10月6日(日) 2日間 10:00 〜 17:00	日本経営士会 本部会議室	募集人員：6名 受 講 料：29,800円(税込)	当会HPをご覧下さい。または事務局に問い合わせ下さい。
第51期経営士養成講座	10月12日(土) 〜 12月14日(土) 10日間 9:00 〜 18:00	日本経営士会 本部会議室・ 研修先	募集人員：16名 受 講 料：200,000円 (税込)	当会HPをご覧下さい。または事務局に問い合わせ下さい。
経営改善 プロフェッショナル 養成講座	10月13日(日) 10:00 〜 17:30 10月14日(月) 9:30 〜 17:30	日本経営士会 本部会議室	募集人員：16名 受 講 料：30,000円(税込)	当会HPをご覧下さい。または事務局に問い合わせ下さい。
第104回経営士試験	11月3日(日)	日本経営士会 本部会議室他	受 験 料：10,000円(税込)	当会HPをご覧下さい。または事務局に問い合わせ下さい。
環境経営士養成講座 ベーシックコース	11月9日(土) 10:00〜17:30	日本経営士会 本部会議室	募集人員：15名 受 講 料：13,000円(税込)	当会HP「環境保全活動のご案内」をご覧下さい。
環境経営士養成講座 アドバンストコース	11月16日(土) 11月17日(日) 2日間 10:00〜17:30	日本経営士会 本部会議室	募集人員：15名 受 講 料：25,000円(税込)	当会HP「環境保全活動のご案内」をご覧下さい。
第4回定例理事会	12月6日(金) 13:30〜14:30	日本経営士会 本部会議室	――	――
第2回理事・支部長会	12月6日(金) 15:00〜17:00	日本経営士会 本部会議室	――	――
第5回定例理事会	3月13日(金) 13:30〜16:00	日本経営士会 本部会議室	――	――

■『e-ラーニング講座』を3月よりスタートしています。講座をご受講され、スキルアップにご活用下さい。
詳細はホームページをご覧いただくか、又は本部事務局にお問い合わせ下さい。

MPP開催予定／支部活動予定

これからのMPP研究会・リーダー養成・更新研修　開催予定

日	時	開催支部名	内容	会場
9/28	13:30 ～ 16:30	茨城県会	公開MPP	ひたちなか商工会議所
10/5	10:00 ～ 17:00	中国支部	リーダー更新	広島オフィスセンター
10/19	13:30 ～ 16:30	中日本ブロック（主管：埼玉支部）	公開MPP	浦和コミュニティセンター
10/20	10:00 ～ 17:00	中日本ブロック	リーダー更新	本部会議室
11/13	10:00 ～ 17:00	中日本ブロック	リーダー更新（1日間）	本部会議室
11/14	10:00 ～ 17:00	MPP委員会	リーダー養成　1日目	本部会議室
11/15	10:00 ～ 17:00	MPP委員会	リーダー更新（1日間） リーダー養成　2日目	本部会議室
11/30 ～ 12/1	13:30（受付）～ 13:00（終了）	北関東支部（主管：栃木県会）	北関東支部公開MPP（宿泊研修）	栃木市（会場未定）
12月	東京支部ホームページにて案内	中日本ブロック（主管：東京支部）	公開MPP	本部会議室
12/7	13:30 ～ 16:30	新潟県会	第25回公開MPP	クロスパルにいがた（新潟）
1/25	13:30 ～ 16:30	新潟県会	第26回公開MPP	アオーレ長岡（長岡市）
2/1 ～ 2/2	時間は後日発表	東北支部	東北支部公開MPP（宿泊研修）	福島県（母畑温泉）
2/29	13:30 ～ 16:30	茨城県会	公開MPP	ひたちなか商工会議所

＊会場その他詳細・お申し込みは各担当支部へお問い合わせください。
＊中日本ブロックは隔月開催、茨城県会は年4回、NJKは年1回、定期的に開催しています。
＊各支部MPP担当者は、委員会並びに本部田中宛に今後のスケジュールをお知らせください。

支部活動予定

【北関東支部】
（茨城県会）
＊茨城県会公開MPP
　9月28日（土）13：30 ～ 16：30
　ひたちなか商工会議所
＊茨城県会月例研究会
（経営士の提言、MPPケース作成、その他）
　10月19日（土）13：30 ～ 16：30
　ひたちなか商工会議所
＊北関東支部公開MPP
　11月30日（土）～ 12月1日（日）
　（詳細は別途、栃木県会主管）
＊茨城県会月例研究会
（経営士の提言、MPPケース作成、その他）
　12月21日（土）13：30 ～ 16：30
　ひたちなか商工会議所

【埼玉支部】
＊ビジネスモデル・キャンバス研究会
　9月 5日（金）13：30 ～
　武蔵浦和コミュニティセンター 第1集会室
＊ビジネスモデル・キャンバス研究会
　10月 4日（金）13：30 ～
　武蔵浦和コミュニティセンター 第1集会室
＊埼玉支部定例会
　10月19日（土）13：00 ～
　浦和コミュニティセンター 第14集会室

【一木会】
　9月5日（木）15：00 ～ 17：00
10月3日（木）15：00 ～ 17：00
（会場は毎回 ホテルグランドヒル市ヶ谷）

【TAMAマネジメント研究会】
　9月28日（土）14：00 ～ 17：00
10月26日（土）14：00 ～ 17：00
11月30日（土）14：00 ～ 17：00
（会場は毎回 三多摩労働会館）

【中部支部】
＊環境経営士セミナー
「環境経営士フォローアップセミナー」
　9月 8日（日）10：00 ～ 16：00
＊新・道の駅研究会
「売上が減少する“道の駅の再生”について」
　9月22日（日）9：30 ～ 11：30
＊ICT研究会
「ワードプレスによるホームページの作り方と活用法(2)」
　9月22日（日）12：30 ～ 14：30
　（開催場所は名古屋芸術創造センター）

広告／インフォメーション

PR

素焼きアーモンドを毎日の食卓に取り入れてみませんか?

アーモンドは、エイジングケアに欠かせないビタミンEが豊富です。食物繊維がレタスの約9倍も含まれており、毎日食べ続けることでカラダの中から健康になるスーパーフードなのです。

食べ切りサイズ15gを**100袋以上から1袋あたり税抜90円にて**配送いたします。400袋以上のご注文は1袋あたり税抜70円に勉強させて頂きます。どちらも送料込みのお値段となります。賞味期限は210日です。ご注文お待ちしております!

【弊社事業】
①菓子を用いた販売促進物・宣伝物の企画・製作
②菓子専門商社業
③週一回からのパートタイム経理部長サービス
（月次決算早期化、資金繰り表見える化　等）

バーニングスピリッツ Burning Spirits!

【お問合せ先】
株式会社バーニングスピリッツ
代表取締役　堺　剛
携帯電話：090-2733-0185
メール：tsakai@burningspirits2017.com

経営士とのダブル・ライセンスで仕事幅拡大

国家資格キャリアコンサルタント

に挑戦！ は、いまがチャンス！

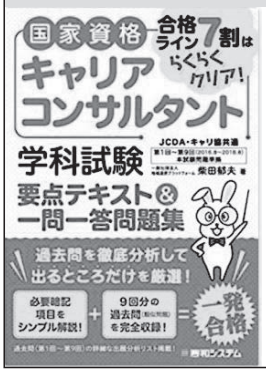
国が力を入れコンサルタントと名乗れる名称独占資格。従業員のやる気が高まり企業業績アップ。質問力、ファシリテーション力、カウンセリング（コーチング）スキルが身につく、生涯現役職種。

PR

受験資格が得られ、すぐに国家資格者になれる
【厚生労働大臣認定・キャリアコンサルタント養成講習】
http://careerjp.work/cc1/

【経営士向け → 3大特典】

- **受講料が最も廉価**：他校よりも数万円安く、入学金も免除。さらに消費税分値引。
- **合格サポート制度：「受験対策講座」が合格まで何度でも無料に！：通常1日2万円（他校も同様）の対策講座を何度受けても無料に！**
- **貴重な過去問題集＆回答を無料贈呈**：通常入手できない当校オリジナル版。



説明会随時開催！

一般社団法人
地域連携プラットフォーム
TEL：048-476-4600
FAX：048-476-4607
E-mail：info@careerjp.work
〒353-0006
埼玉県志木市館2-5-2鹿島ビル4階
代表理事　**柴田郁夫（経営士4756）**
国家資格キャリアコンサルタント
国家検定1級キャリアコンサルティング技能士
国家検定2級キャリアコンサルティング技能士

新書紹介

コンサルタントには日本各地の歴史の中で育まれてきた地域資源を見逃さず、地域の観光と特産、歴史と文化の関連などの重要性に着目する視点が求められます。

そこで「観光特産＝観光資源×地域特産」という公式の活用方法を全国47都道府県の特産800点以上のカラー写真とともに紹介しました。日々の活動や出張の折に活用できます。

◇著書名：
観光特産のこだわり人間になる
『日本の観光　特産▶名産』
A5版／200頁（カラー 88頁）
◇著　者：北賢治（会員番号4417）共著
◇定　価：2,000円（税別）
◇発行日：2019年5月1日
◇発行所：（一社）日本販路コーディネータ協会出版局
◇購入は、下記URLあるいはQRコードから申し込み下さい。
http://www.jmmp.jp/text_tokusanmeisan.html

インフォメーション

✿2020年度版経営士手帳について✿

2020年度　経営士手帳は、会報誌11・12月号（発行予定は11月上旬）と一緒にお届けする予定で準備を進めています。ご活用を宜しくお願いします。

訃　報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。
会務に多大のご尽力をされました。

＊古塩 修会員
（東京支部　NO.283）
令和元年7月28日没（享年94歳）

＊太田 能史会員
（九州支部　NO.571）
令和元年8月3日没（享年82歳）

第51期　経営士養成講座開催のお知らせ

本部・中日本ブロック共催

一般社団法人日本経営士会は
次代を担う経営コンサルタントを養成します

◆開　催　日：全10回　（土・日曜日を中心に開催）
10月12日（土）開講、10月19日（土）、10月26日（土）、11月2日（土）、
11月3日（日）、11月10日（日）、11月23日（土）、11月30日（土）、12月7日（土）、
12月14日（土）修了

◆会　　場：一般社団法人日本経営士会　本部会議室
（〒102-0084 東京都千代田区二番町12-12 B.D.A.二番町ビル5F会議室）

◆募 集 人 員：16名（定員になり次第締め切らせていただきます）

◆受　講　料：200,000円（消費税込）

◆お問合わせ：一般社団法人日本経営士会　事務局
TEL　03-3239-0691　　E-mail　office@keieishikai.com

◆詳細は、ホームページでご確認下さい。

✿会員各位へお願い

経営士、日本経営士会にご関心のある方へ是非経営士養成講座の受講を勧めて下さい。

「経営士の提言」執筆のお願い

日刊工業新聞社のご厚意により、日刊工業新聞紙面に「経営士の提言」の欄を設けていただいております。日本経営士会並びに「経営士」の活動を知って頂く絶好の機会になりますので、会員各位の積極的な寄稿を是非お待ちしています。執筆の要領は下記の通りです。

■「経営士の提言」執筆要領

内　　容：「モノづくり産業を中心とした経営的視点から」読者・関連業界に参考になる提言・提案を執筆して下さい。

字　　数：900 文字（末尾に氏名と電話番号を記載）

紙面掲載：毎週木曜日

原稿作成：文章は常体「だ・である」でワードで作成の上、メール等にてデータで本部事務局宛てにお送り下さい。（メールアドレス office@keieishikai.com）

＊掲載内容は、日刊工業新聞社の編集部が決定します。

Management Consultant

経営に知恵と革新 Intelligence and Innovation in Management